

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	15	学 校 名	静岡県立御殿場南高等学校	校 長 名	渡辺 洋介
------	----	-------	--------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

北駿の優れた若者を集め育成するという「鍾駿」の建学精神のもと、主体性と言語活動を重視した教科指導、SDGs 探究学習やキャリア面談等で学習及び進路意識の向上を目指すCプロジェクト、協働する姿勢や粘り強さを育む行事や部活動等を通して、「知力」・「精神力」・「体力」・「人間性」を兼ね備えた地域のリーダーとなる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

【グラデュエーション・ポリシー】

(校訓「心は広く豊かに 志は高く大きく 日々の努力を惜しまない」に基づく「育てたい資質・能力」)

「心は広く豊かに」(学びに向かう力・人間性等)

- ・幅広い視野から物事を捉え、自ら課題を発見し、その解決に向け主体的に行動できる。
- ・人権と多様性を尊重し、意見を交わしながら協働して課題解決に向けた努力ができる。
- ・集団の中の一員であることを意識し、周囲への配慮やマナーを伴った行動ができる。

「志は高く大きく」(思考力・判断力・表現力等)

- ・習得した知識や技能を有効活用し、常にレベルアップを目指して修正・改善ができる。
- ・「大学進学後の社会」を意識し、高校時代の学びを活かした進路選択ができる。
- ・学習内容や進路選択等に関して、自分の考えを論理的に他者に伝えることができる。

「日々の努力を惜しまない」(知識・技能・達成感等)

- ・知識・技能等の習得に向けた演習や練習を積み重ね、達成感を得るまで努力できる。
- ・困難に直面しても、様々な側面から状況を分析し、粘り強く解決に向けた取組ができる。

【カリキュラム・ポリシー】

ア 協働性や主体性を育む探究学習

SDGs 探究学習やキャリア面談等から構成されるCプロジェクトを実施し、協働することの大切さを実感するとともに、自己のキャリア意識を深化させる取組を行います。

イ 社会から求められる資質を育む教育課程

「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭にした幅広い教科学習により、対話的で深い学びを実践し、思考力・表現力・コミュニケーション能力等を伸長する教育課程を設定します。

ウ 総合的な人間性を育む学校行事・部活動・ボランティア活動の実施

対面で人と関わる行事・部活動・ボランティア活動等を通して、地域のリーダーとなる人材に必要な「志」「知力」「精神力」「体力」「人間性」を総合的に育成します。

【アドミッション・ポリシー】

ア SDGs等の世界的視野に基づき、身近な生活環境の改善に向けて行動を起こせる生徒

イ 将来を見据え、思考することを重んじ、主体的に粘り強く学ぶことのできる生徒

ウ 部活動や生徒会活動及びその他校内外で行われる多くの活動に、意欲的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

キャリア教育(Cプロジェクト)を通して、学ぶことの意味を意識させると同時に、主体性・課題解決力・コミュニケーション能力等、地域社会の将来を支える人材に求められる力の定着を図る。

ア 学校生活の様々な場面で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を意識し、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返す行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目標を達成できるような指導を工夫する。

イ 教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。

様式第 1 号

- ウ 「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。
- エ 品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切にする心身の健康や安全、防災についての意識を高める。
- オ SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。
- カ 自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。
- キ 業務改善を図り、教職員の意欲と組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標（生徒の割合）	担当部署
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返すことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目的を達成できるような指導を工夫する。	・授業、部活動、生徒会活動など、高校生活の中で達成感を味わい、「主体的」に活動する場を設定する。 ・学校生活の様々な場面で、集団としての目標を設定し、目標達成に取り組む姿勢を育む。 ・学習や活動の成果を、より積極的に進路指導で活用する。	・南高に入学して充実した高校生活を送っている 90% ・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。 80% ・県・東海・全国大会への出場	全体
イ	教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させ、困難なことにも挑戦する姿勢や、折れない力の育成を目指す。	・SDGs 探究学習の一層の内容充実、実施体制整備を図る。 ・テーマ探究学習、キャリアプラン表明書の指導を通じて、学びの先にある社会に役立ちとうとする「こころざし」の向上を目指すとともに、その達成のため主体的に学習する姿勢を養う。 ・海外交流や資格、探究サークル等、進路実現のために「主体的」に活動できる場を創出し、踏み出す力を支援する。	・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。 90% ・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身についている。 90% ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。 90%	進路 教務 学年
ウ	「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進する。	・「思考力・判断力・表現力」養成を重視する授業改善と学習評価を実践し、定着を図る。 ・AL 型授業または ICT 活用授業を各単元に 1 回以上実施する。 ・「高校生のための学びの基礎診断」等を活用し、教科毎のヒアリングを年 2 回実施 ・新学習指導要領に対応した評価の実践・検証を行う。 ・授業参観を年 3 回以上実施する。 ・自学自習力を向上し、家庭学習時間を確保する。 ・特進クラス魅力化の検討を行う。	・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身についている。 95% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数 40 名以上 ・家庭学習時間 1 日平均 2 時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用	研修 教務 進路 学年

様式第 1 号

エ	品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、自他ともに大切にする心身の健康や安全、防災についての意識を高める。	・初期指導や生徒会活動等の機会を活かし、容儀の端正化、マナーの徹底を図り、挨拶の励行等に取り組む。 ・ルール理由と違反の周囲への影響を理解させ、他者への思いやりと人権を意識する。 ・いじめ防止の組織的な対応を行う。 ・スマホの使用（SNS、ゲーム、動画視聴等）に対する自制心を育成する。	・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。 90% ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができている。 80% ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理能力の育成	生徒 学年 全体
	健康教育、交通安全教育を推進する。 防災教育を実施する。	・健康、安全啓発とともに、災害を想定し、非常時に対応できる体制づくりをする。 ・重大な交通事故ゼロを目指す。 ・生徒が相談しやすい体制づくりを推進する。	・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。 90% ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。 90%	生徒 総務 教頭
オ	SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。	・自治体や事業所、大学等と連携し、SDGs フィールドワーク、ボランティア活動、学習発表会等をさらに充実させる。 ・授業、鍾駿ゼミ、修学旅行等で主体性、協働性を育む。	・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。90% ・1 部活動 1 ボランティア（地域交流活動）	進路 学年 教務
		・図書館広報を充実し、読書を推進する。年間利用者延べ 2000 人、貸出数 1200 冊を目指す。 ・1・2 年で読書関連活動を実施する。	・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。 85%	図書 学年
カ	自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。	・「話し方ワークショップ」や同窓会との協働企画等、特色づくりに向けた取組を継続する。 ・鍾駿会等の外郭団体や新聞社等と連携し、より積極的な発信・広報を行う。	・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。 85%	副校長 総務 学年
キ	環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	・公共心を涵養する。 ・施設、設備の状況を定期的に点検し、予算を有効に執行する。	・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。 95% ・定期点検月 1 回、随時点検	総務 事務
		・外部人材による支援を拡充する。 ・業務ファイルの整備を進める。 ・事務集約化を見据えて、会議・分掌業務の見直しを行う。 ・不祥事根絶研修を実施する。	・補習、部活動における外部人材による支援を広げる。 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化	管理職 運営 委員